

しろはく活動記録

古地図と城の泉 第59号

極彩色防州萩城下町絵図 江戸初期

泰山金剛教 城文字2種発見

三増合戦陣立図 巨大細密濃彩絵図

平成30年4月1日

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

城郭現地調査報告及び資料調査 博物館事業報告

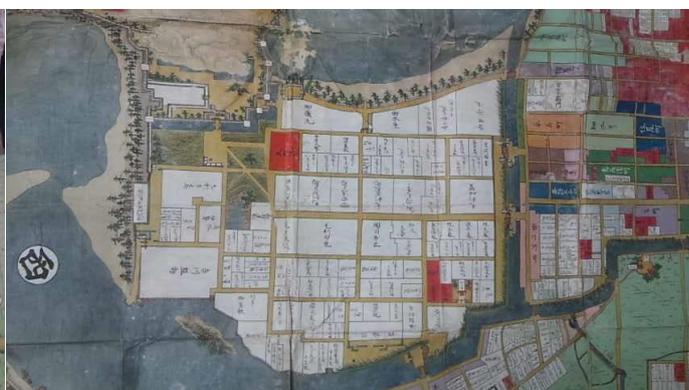
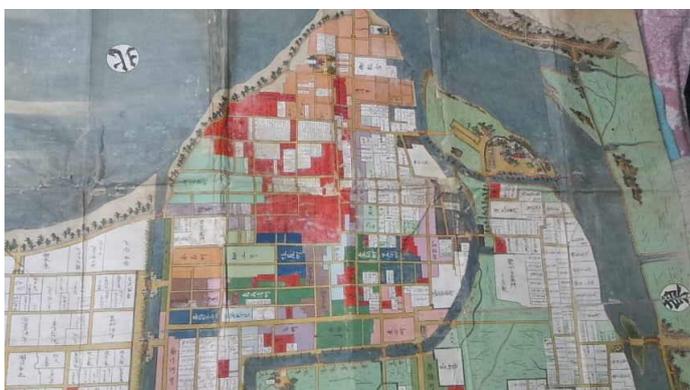
1・防州萩城下町絵図 長野で萩城修理絵図を入手、57号で紹介したが、今度は栃木でまったく別のルートから萩城下町絵図を持参いただいた。いずれも小生を目的に骨董商が持ってきてくれたもの。いずれも古式の雰囲気がある。拝領屋敷、年貢屋敷区別明記 絵師による濃彩細密彩色絵図 色材剥離激しく、裏打ちの道中図をすべて剥し、新たに丁寧に補修したが保存が極めて難しく、額装を検討したが、94 x 98 cmと大きく、会う額が見当たらない。合わせて、城下町絵図数点公開



萩城下町絵図 北部



南部

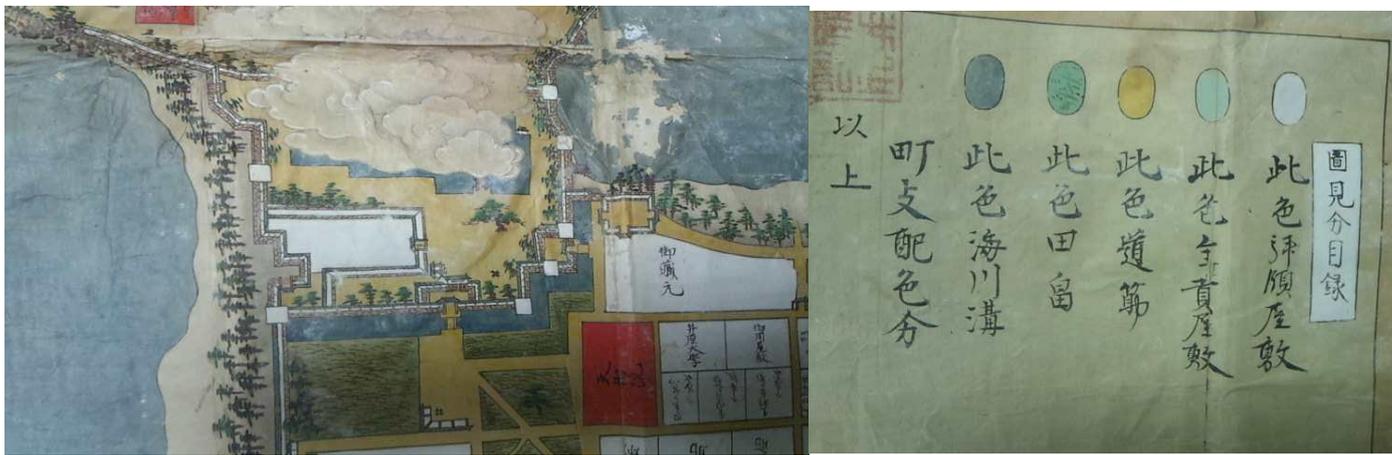


城下町部分



城郭部分

指月山山頂櫓



萩城本丸部分

凡例 評領屋敷、年貢屋敷とある



金沢城下町絵図中心部

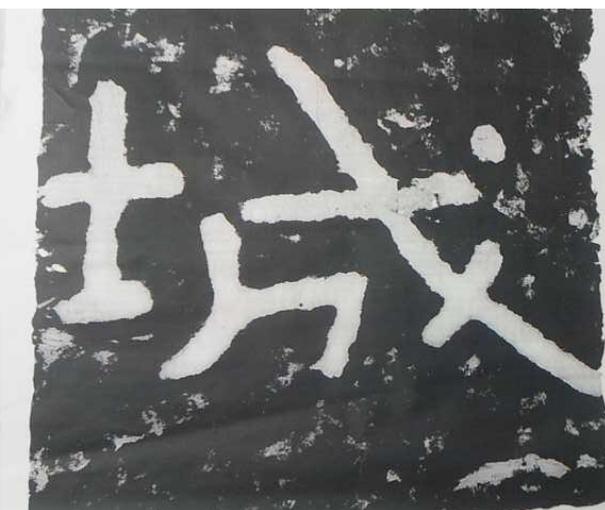


丹後宮津城下町絵図中心部



名古屋城下町絵図中心部 軸装

2・泰山金剛教 城文字2種発見



今回発見の泰山教 本拓

約10年前に所蔵した泰山教コピー

中国泰山の岩盤に刻まれた45 x 50 cmの壮麗な文字、不言実行とか、その拓本が軸装され珍重されている。10年以上前に城文字を見つけたが、岩盤のため傷み上がり、複製のみ所蔵した。今回2回目であるが、同一文字でなく、2種あることを発見した。

3・三増合戦陣立図 1850x2550cm



今だ謎の多い三増合戦細密濃彩絵図である。本来、博物館3階撮影ステージから2階ホールに大型地図を俯瞰し、撮影できるように建築は設計したが、今ホールは資料で埋まっている。やむなく、好天の日に玄関前の駐車場にブルーシートを敷き詰め、風に注意しながら撮影した。本来部分取りでも構わないが、謎の戦記に一石が投じることができればと、あえてトライアルした。合戦そのものは御承知の通り、永禄12年1569年10月6日神奈川県愛川町の三増峠でおこなわれ、信玄が小田原城を囲み、落せず、甲斐に退去する際に北条氏と戦ったもので、小田原城が信玄も落とせない堅城として勇名をはせた事件である。ただ、三増峠合戦については甲陽軍鑑や北条5代記等諸説あり、謎に包まれている。あえて細密の撮影を試みた理由出ある。

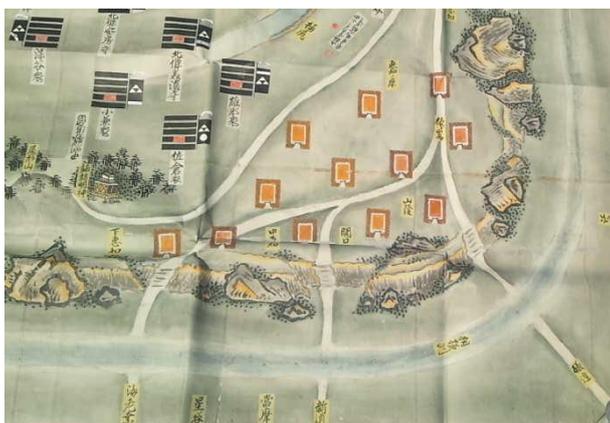
本絵図は濃彩で立派なタトウに仕立てられているが、元の封紙は、甲州韮崎合戦天文七歳七月十九日図主口羽氏とある。あるいは、同様の巨大な韮崎合戦図と入れ替わったものかと思われる。後年、識者により正しい名称でタトウが作られた。

- 1・北条氏康は氏照、氏邦に信玄を待ち伏せさせたのか、武田方が先に布陣したのか？
- 2・信玄は北条方津久井城に小幡重貞を抑えとした。

3・勝者は武田か、北条か？

4・合戦場はどこか、絵図はどこまで物語るか？





北條方の津久井城を抑える小幡重貞、武田の先陣内藤昌豊、戦死した浅利信種





タトウ表紙

新収集情報報告

掲載は入手順に入手後、翌日に記載しています。メモ代わりの備忘録ですので順不同です。

掲載分類は城郭図、城郭錦絵は城郭、群馬地図、資料は群馬、錦絵地図は錦絵、地図類は航空写真も地図、錦絵軍事、砲術、調練は軍事、後はタイトル通りです。

1・古絵図・古地図

岡山市街全図附近郡村地図 大正9年 日下伊兵衛

新潟県地蔵町絵図 明治5年・6年 地券取調節改正 稲垣重光旧臣地蔵町惣代山本治繁 彩色絵図2種

熊本県球磨郡人吉町勢要覧・12000分I地図 昭和10年 町役場

尼子軍記石州津和野合戦 木版

清水港絵図 伊豆半島迄彩色絵図

文化14年江戸図 須原屋茂兵衛 木版色刷

東海道近江国道中絵図 木版 大津町から鈴鹿峯(伊勢国境)まで 膳所城址、三雲新左衛門賢持城址、官山古城山岡山城址 明治10年頃か 何と萩城下町絵図の下張

伊勢道中絵図 木版色刷 長島、桑名、四日市、神戸、上野城址、一身田、津、久居、戸木城址、北畠城址、松坂、宇治 明治10年頃

永福東京御絵図全 明治4年 木版色刷

書簡図絵鹿兒島市 常光 昭和11年 市役所

福島市附近案内図 昭和11年 博向堂長澤慶治

祝酒田市制酒田市最新明細地図 8000分I 昭和8年 東京日日新聞

実地踏測広島市街全図 明治38年 日下伊兵衛 銅版色刷

最新詳密長野市地図 明治39年 河原三平

2・古典籍・古記録

外邦太平記 全5冊揃 安政元年 磐上軒主人 京師総図 木版色刷

丹波志全24巻全10冊揃解組全19巻 昭和2年写

弘前藩古文書藩鏡 1・慶長15年信牧公御縄張弘前平山城南正面南北8町程東西7町程・郭数5但御本城者北外也・虎口13・矢倉門6・御矢倉8但御本丸御矢倉天守共3ハ寛永4年雷火ニテ焼失ノ後出来無之御天守共・橋之数7外二土橋4ヶ処

1・御城下縦横以下省略 関所山岳大河沼、古城趾95ヶ所、温泉、享保16年56万4640人

弘前藩慶応2年江戸常府名前 役職石高名前

弘前藩御次第諸御例定法 役職名

3・印刷資料

4・錦絵・引札・双六・絵葉書・古写真

名産雁皮紙製造販売本舗引札 静岡県加茂郡熱海温泉場雁皮紙本舗清水堂渡辺彦左衛門
大日本国郡名所白石 橋本玉蘭斎貞秀 鳥瞰図錦絵

時計錦絵 説明不見日岡の閑人志る辺 作者不明 3枚続きの中央か 明治 大判

5・軍事資料・武器器具

鉄砲巻秘書全 薬法・稲富流・元和6年・延宝9年・寛政10年

砲兵操典 明治14年 陸軍省 第3編乗馬教法第2部乗馬小隊教練

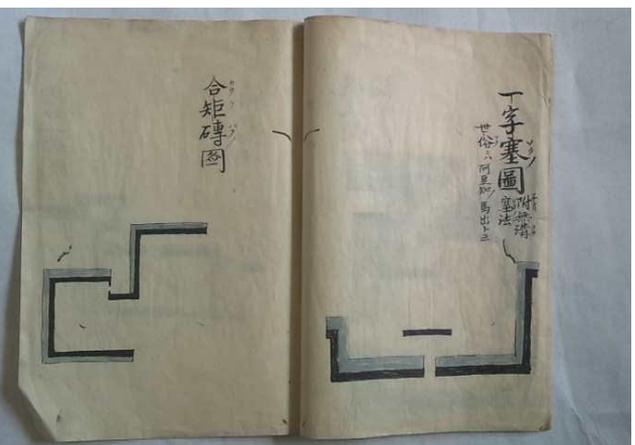
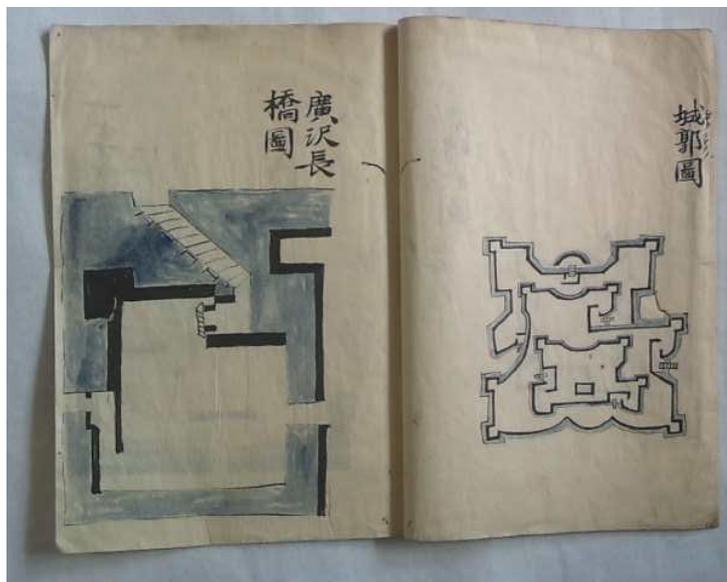
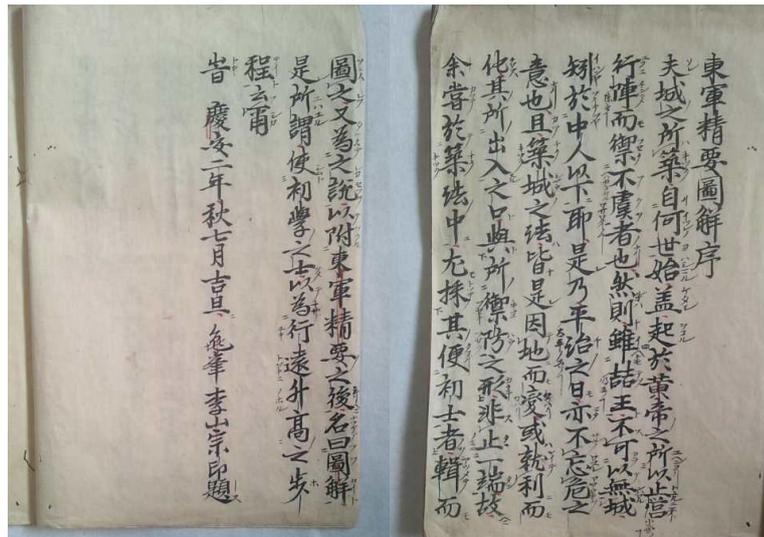
6・城

相模小田原 主図合結記に類似 A3

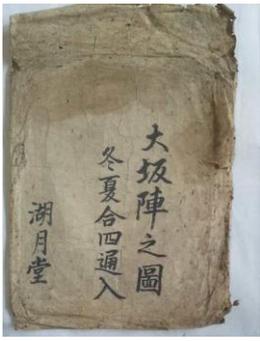
相模国足柄下郡小田原城 城主歴稲葉加賀守忠顕 1万3129石余明和6年11月家督 櫓立面・高低差・雷曲輪・百間蔵・鷹部屋・馬屋・塩硝曲輪・弁財天島・蔵屋敷・小峰口・板橋口・宮之前大手・幸田口・ヤツ口記入

岐阜軍記 天保15年 慶長5年**岐阜落城軍記** 城多櫓門持口旗下之軍法・城西七曲口持口・城西百曲持口・城西本丸持口・城西北出丸持口・城北面編子持口・城地下水之手持口・城戌亥本丸持口・中納言秀信公本丸御殿都合五千人・織田左衛門尉秀信二丸御殿都合三千人・中略 岐阜落城之事・岐阜落城後次第の事

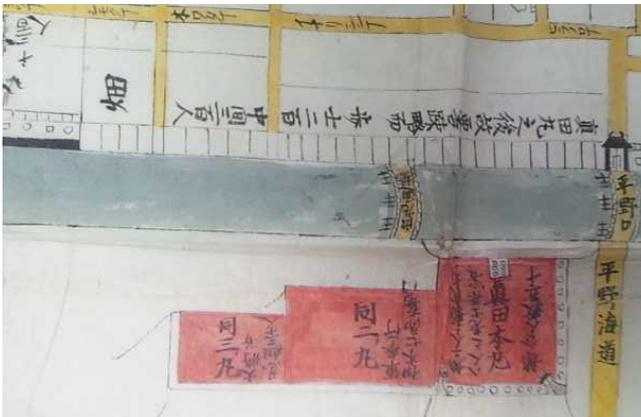
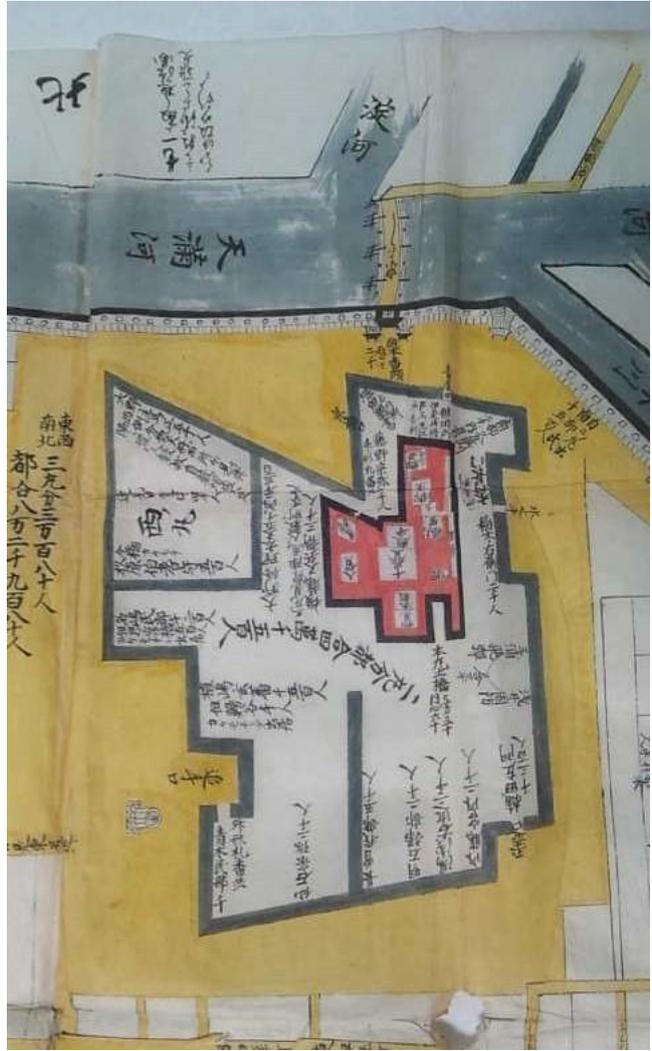
築城図解



大坂陣之図冬夏合四通



湖月堂 一番慶長十九甲寅歳冬陣霜月二十三日・二番元和元乙卯歳五月五日初日・参番元和元乙卯歳五月六日・四番元和元乙卯歳五月七日（七日撰河平野亀井岡山南門庚申堂五戦之図） 大坂陣図は30枚余、含めて大坂城絵図は100枚以上幕府直轄城修理絵図を含めて、鳥瞰絵図や幕末錦絵大坂城炎上絵図等所蔵しているが、今回の絵図は夏の陣が5月5日、6日、7日と日を追って描かれている。



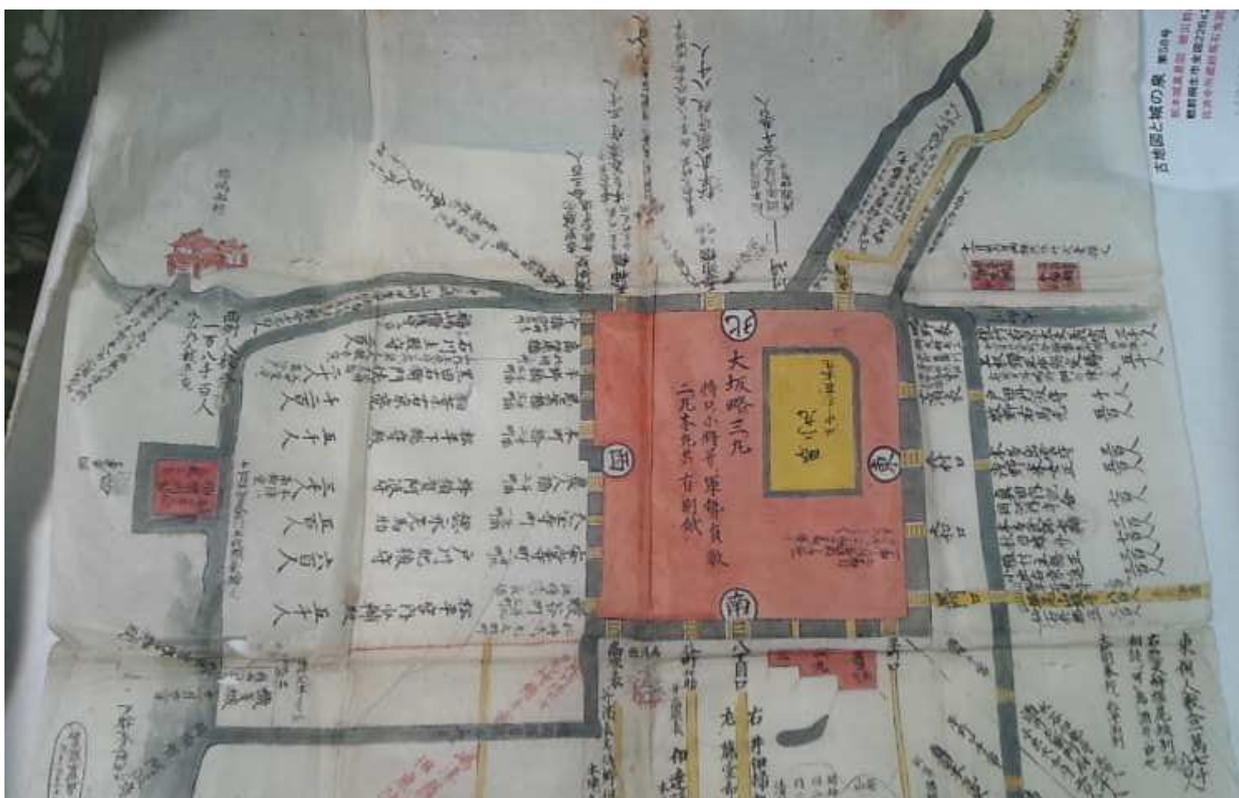
大坂冬の陣絵図一番慶長十九甲寅歳冬陣霜月二十三日

2 図 大坂夏の陣図5月5日二番元和元乙卯歳五月五日初日





3 大坂夏の陣五月六日参番元和元乙卯歳五月六日





4図大坂夏の陣5月7日四番元和元乙卯歳五月七日（七日撰河平野亀井岡山南門庚申堂五戦之図）

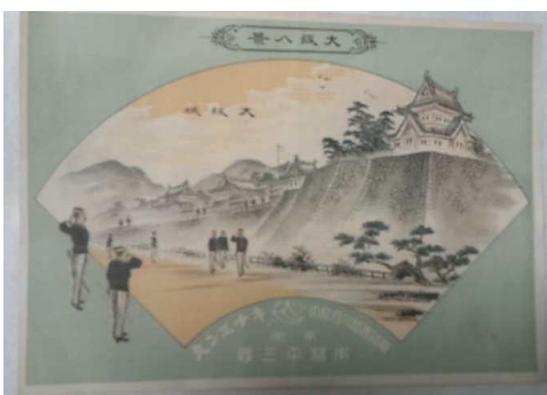


中国泰山金剛教拓本城 本拓 別記

大阪八景大阪城 石版引札 大坂城西面俯瞰図 明治 大阪四川橋西詰南キナエン丸本家本林平三郎 よく或る大坂名所より荘厳、扇面図

城グッズ 大天守小天守貯金箱・

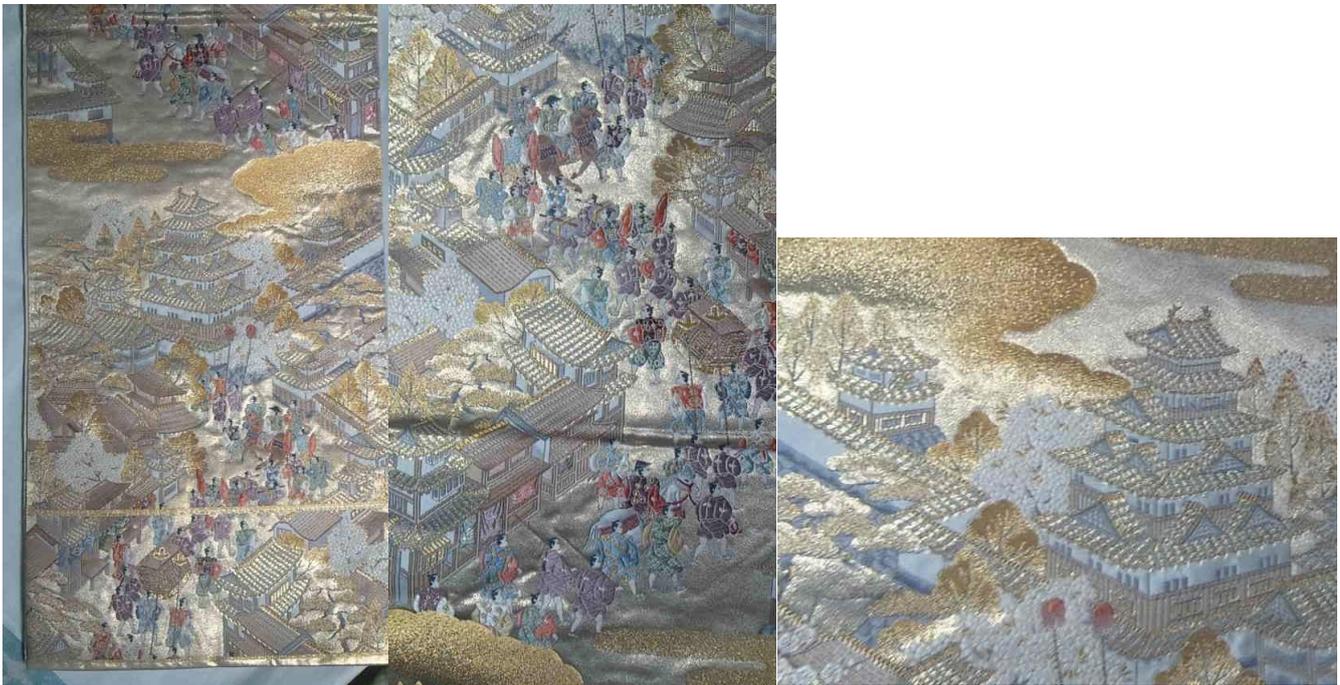
鈴録全20巻20冊揃 安政4年 荻生徂徠・物茂卿 木版
 絵入 兵制・陣法・戦法・戦略・城制・守法・攻法・水法・
 水軍法



清正朝鮮記 我自刊我書 古書保存書屋 明治14年 加藤主計頭清正高麗陣働之覚書 おらん
かいの城責落し・鏡の城つたいつたいの城・陳州の城せむる・伏見大地震・蔚山籠城等

築城図解・東軍精要図解 慶安2年 亀峯季山宗印題 築城の法32図

城帯 五層の天守と参勤交代の行列を描く 天守のそばを通る参勤交代はあり得ないが、錦糸を
ちりばめ荘厳である。



肥後戦地笑図 明治10年 小池仙次 熊村栄吉出版 いわゆる風刺画である。木版色刷

大日本六十余将对馬総(まま・宗)对馬守義智 錦絵 芳虎 春亭京鶴記 朝鮮征伐五千余人引率、
朝鮮釜山城落す。平壤乗っ取り、米十万石分捕り、牡丹台に出丸構築、和兵二万八千人で明兵三十
余と対峙、夜討ちを以て百人討取り武名をとどめる 図中に明国絵図有り

川瀬巴水新版画複製 名古屋城昭和7年・熊本城宇土櫓昭和23年

三増合戦陣立図 別記

城文献 小田原市史通史編史料編3冊小田原北条・日本名城城郭図大系・日本名城画集成・勝連
城跡二の廓及び三の郭の遺構調査・

城絵葉書 平澤町名勝絵葉書8枚(仁賀保家ノ城趾他)・史蹟の吉田12枚(猿掛城址・郡山古版
画城跡・百万一心碑・吉田町全景・郡山全景)・静岡名所旧城址・現在の熊本城宇土櫓・佐賀百景
旧城門鯨の門・嵯峨小督局旧址・弘前名所鷹揚園下乗橋ト天守閣・広島名所広島城・広島名所に
聳ゆる天守閣・金華山頂の岐阜古城趾天守閣・天主閣松本城・謙信公時代の春日山城郭図・大阪城
公園天守閣・名古屋城・小田城趾絵葉書小田城趾全景・金沢城と石川門・会津名所鶴ヶ城址絵葉書
8枚(廊下橋付近より追手門を望む・旧城趾廊下門附近・追手門内より見たる東側内濠の景・太鼓
門より西出丸を望む・鶴ヶ城公園西出丸・昔を偲ぶ城の石垣東側出口廊下橋内・鶴ヶ城公園入口追
手門・鶴ヶ城天主閣)・

城購入見合わせ 高田城下町絵図 249000円・岡山城古写真 明治初期みづの写真館 14 x 2
0 cm 10枚 129600円・備後国福山城修理絵図 元文2年5年写控図 2枚 76 x 74 cm・6
3 x 65 cm 648000円・岩槻城絵葉書 2種町並 計3枚 21680円 これで2回目入手できず。
子供の会特製岩槻公園衣懸の松土塁堀、岩槻新曲輪橋下より旧城跡を望む、岩槻町市宿通り、た
かが絵葉書と思うから買えないのか、前は揃いで5-6万だったような？・

7・群馬県史料

8・その他

あとがき

1・東京平和島骨董市3月1-4日



北海道や関東東部で暴風雨の大きな被害が出ているが、東京は幸いほとんど風雨はなく、移動、搬入も問題なく対応できた。ただ、被災報道のため初日の来場は極端に少なく、ほとんど海外の来場者のみという一種の風評被害であった。風雨のないのは、ありがたいことではあるが、みなさんの出足が鈍ったことに草津の風評被害も是か。今回は展示の主体を始めて古地図から錦絵にし、3枚続きの錦絵を数100枚展示即売した。地図の時は中国朝鮮台湾の方が多かった

が、錦絵については欧米の方が中心になった。日本の古本屋の発注者である研究者が来ていただいたり、城郭仲間が情報を提供いただき、骨董屋さんが城グッズを持ってきていただいた。ただ、うっかりしてパソコンを持参せず、wihi の対応が出来なかった為、会期を終えて、ようやく帰宅したらに日本の古本屋サイトからの受注メールや各地からのメールが4日で50余とご迷惑をおかけした。この間郵便を止めているため、資料の発送も滞っている。人間、体は一つ同時に2箇所に居れない。体が忤つほしいと思ったが、考えたら、パソコンを携帯しなかったための単純ミスである。デジタル時代に対応できてないと反省。

2・現代の石曳技術？

前号で百済寺の石引き絵図絵馬模写を紹介した。そのあと20年ぐらい前の記憶がよみがえった。日本最大の段ボール会社さんに世界最新鋭の10億円余の大型輪転印刷機をお納めした。搬入の際、工場内建屋の入り口までは大型トラックと巨大なクレーンで移動、さて、工場には大型トラックもクレーンも入らない。搬入業者さんがしたことは、実に400年前の築城風景であった。機械の下に丸太を何本も入れて、小型トラックで工場内の設置場所までけん引したのである。移動に合わせて、丸太を移動、無事設置は終わった。この築城風景は確か名古屋市立博物館の石引き屏風に描かれているのと変わらない、人力かトラックによる牽引かの差のみであった。立ち合いながら400年余変わらない人智に敬服した。今思うと写真でもと思うが、当時は必死でそれどころでなかった。

3・熊本城南面図木版版木

前回熊本城南面図肉筆を紹介したときに、版木の所在をお知らせしたが、見つからなかった。ようやく思い出したのは、印刷資料庫出ある。勤務時代にインキメーカーの開発を担当、日本印刷学会グラビア研究会に所属、地球環境協議会、温暖化防止実行委員会を運営、長年にわたり、印刷技術や工場の省人化無人化にトライアルしてきた。その関係で50年に渡り、印刷資料のコレクショ

ンをしている。公開する機会はないが、熊本城南面図版木はこのコレクションとしてまとめていた。川瀬巴水の犬山城色刷版木揃い等今では手に入らないものも多数ある。今も無念なのは江戸図の版木を入手できなかったことである。ある骨董市で見つけたが、後でと思ったら売り切れていた。一期一会、20年前の記憶がいまだに蘇る。さすがにコロタイプの版のように保存不可能なものをのぞき、石版、銅版等版材はほとんど集積した。色見本、印刷見本、各種印刷物機会があれば紙上で一堂に公開したい。

発行所

しろはく古地図と城の博物館 富原文庫

379-0109 群馬県安中市秋間みのりが丘5-73

携帯電話 090-2722-4689(しろはく)

FAX 027-315-4689(しろはく)

Eメール shirohaku@kym.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.shirohaku.com/>

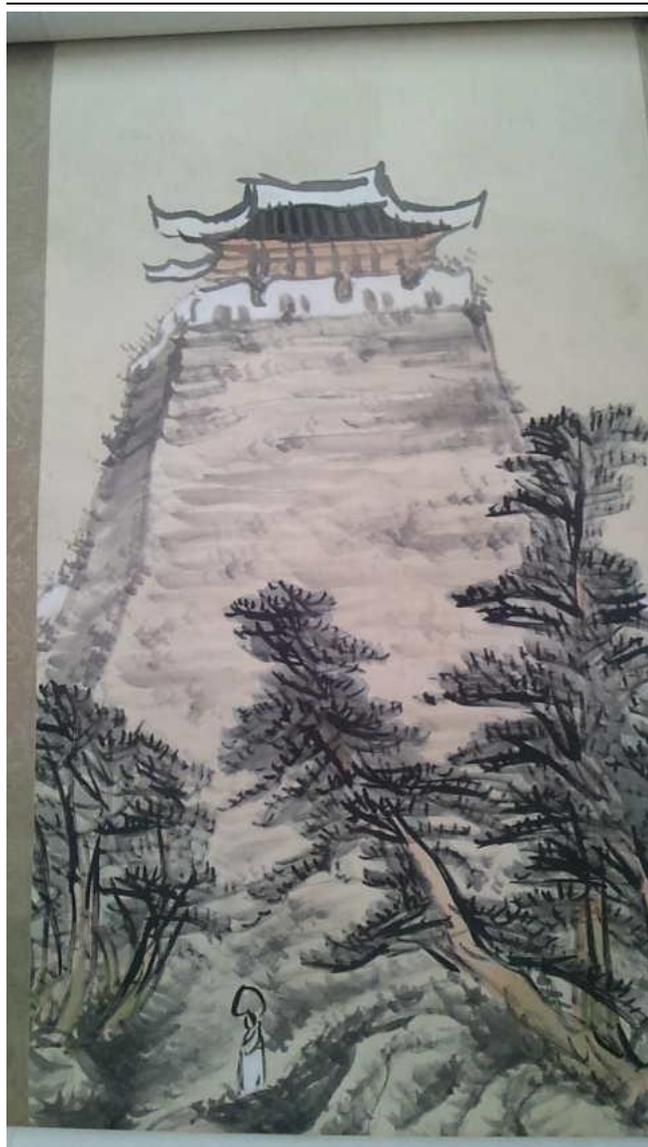
ミュージアムショップ 群馬県古書籍商組合加盟

博物館資料専門店

古地図と城 古書肆 城郭文庫

代表

富原道晴



平壤牡丹台風光、軸装
